

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

公共工事における総合評価落札方式の手引き

公共工事における総合評価落札方式の手引き

福 井 県
令和5年5月

福 井 県
令和4年4月

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)	現 行 (R4.4.1)
<p>1～2 (略)</p> <p>3 評価方法の選択</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実績評価型（簡易型）の適用対象 技術的な工夫の余地が小さな工事に適用する方式であり、技術提案は求めない。なお、事業規模等を勘案し、3千万円以上の工事（現道上の舗装工事については1千万円以上の工事）について、企業の技術力等により、工事価格の差異に比して、性能、機能等の工事の品質に相当程度の差異が生じ、総合的な価値の向上が期待できる工事等を中心に実施するものとする。 具体的には主たる工事内容が次表（別表1）に該当する工事を実績評価型の対象とする。ただし、この表に該当しない場合でも、工事内容により実績を求めることが妥当と判断される場合には、実績評価型とすることができる。 なお、<u>1億円以上</u>の土木一式工事、5千万円以上の建築一式工事、3千万円以上の舗装工事は原則、実績評価型（簡易型）とする。</p> <p>(別表1) (略)</p> <p>(3) 地域防災力維持型（地防型）の適用対象 「土木一式」工事における汎用的な工種で構成され、技術的な工夫の余地が小さな工事に適用する方式であり、評価にあたり実績を求めない。原則として設計金額が2千万円を超え<u>1億円未満</u>の「土木一式」工事のうち実績評価型（簡易型）によらない工事（主たる工事内容が（別表1）に該当しない工事）に適用するものとする。 なお、2～3千万円の工事は地域防災力維持型とするが、工事内容により実績を求めることが妥当と判断される場合には、実績評価型（簡易型）とすることができる。</p> <p>(4) (略)</p> <p>4～9 (略)</p> <p>10 評価項目および評価基準</p> <p>(A) 技術提案（様式5号～8号）(略)</p> <p>(B) 企業の技術力（様式第9号、第10号、第10号の2）</p> <p>(a) 施工実績 (略)</p> <p>(b) 工事成績評定 福井県（土木三公社を除く）発注の工事、過去2か年度（建築一式、管、電気、電気通信、機械器具設置については過去5か年度）に完成検査を受けた工事成績評定点の平均点 <u>（小数点第2位以下切捨）</u> を評価する。<u>評価点数は、計算した結果の小数点第2位以下を切捨てるものとする。</u></p> <p>(略)</p> <p>(c)～(e) (略)</p> <p>(C) 配置予定技術者の技術力（様式第11号）</p> <p>(a)～(d) (略)</p> <p>(e) 継続学習への取組状況</p> <p>① 「土木一式工事」および「鋼構造物工事」 (社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）に継続参加中であり、取得ユニット数が一定の水準を満たした場合に加点する。</p>	<p>1～2 (略)</p> <p>3 評価方法の選択</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実績評価型（簡易型）の適用対象 技術的な工夫の余地が小さな工事に適用する方式であり、技術提案は求めない。なお、事業規模等を勘案し、3千万円以上の工事（現道上の舗装工事については1千万円以上の工事）について、企業の技術力等により、工事価格の差異に比して、性能、機能等の工事の品質に相当程度の差異が生じ、総合的な価値の向上が期待できる工事等を中心に実施するものとする。 具体的には主たる工事内容が次表（別表1）に該当する工事を実績評価型の対象とする。ただし、この表に該当しない場合でも、工事内容により実績を求めることが妥当と判断される場合には、実績評価型とすることができる。 なお、<u>7千万円以上</u>の土木一式工事、5千万円以上の建築一式工事、3千万円以上の舗装工事は原則、実績評価型（簡易型）とする。</p> <p>(別表1) (略)</p> <p>(3) 地域防災力維持型（地防型）の適用対象 「土木一式」工事における汎用的な工種で構成され、技術的な工夫の余地が小さな工事に適用する方式であり、評価にあたり実績を求めない。原則として設計金額が2千万円を超え<u>7千万円未満</u>の「土木一式」工事のうち実績評価型（簡易型）によらない工事（主たる工事内容が（別表1）に該当しない工事）に適用するものとする。 なお、2～3千万円の工事は地域防災力維持型とするが、工事内容により実績を求めることが妥当と判断される場合には、実績評価型（簡易型）とすることができる。</p> <p>(4) (略)</p> <p>4～9 (略)</p> <p>10 評価項目および評価基準</p> <p>(A) 技術提案（様式5号～8号）(略)</p> <p>(B) 企業の技術力（様式第9号、第10号、第10号の2）</p> <p>(a) 施工実績 (略)</p> <p>(b) 工事成績評定 福井県（土木三公社を除く）発注の工事、過去2か年度（建築一式、管、電気、電気通信、機械器具設置については過去5か年度）に完成検査を受けた工事成績評定点の平均点 <u>（小数点第1位以下切捨）</u> を評価する。</p> <p>(略)</p> <p>(c)～(e) (略)</p> <p>(C) 配置予定技術者の技術力（様式第11号）</p> <p>(a)～(d) (略)</p> <p>(e) 継続学習への取組状況</p> <p>① 「土木一式工事」および「鋼構造物工事」 (社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）に継続参加中であり、取得ユニット数が一定の水準を満たした場合に加点する。</p>

改正後 (R5.5.1)	現 行 (R4.4.1)																																						
<p>・設計金額7,000万円以上で「(b)配置予定技術者の保有資格」を評価項目としない案件において評価項目とする。</p> <p>・証明する資料として、連合会が発行する証明書の写しの提出が必要であり、単一企業の社内研修会はユニット数算定の対象外とする場合がある。</p> <p>・有効とする証明期間は、今回発注する工事の入札公告日の属する年度から、評価基準の年数（1年～5年のいずれか）に1年を加えた年数を遡った年度の4月1日から入札の申し込みを行った日までで、評価基準の年数に応じた任意の連続した期間とする。</p> <p>・ 評価基準（標準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得ユニット数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年、20ユニット/2年 <u>30ユニット/3年、40ユニット/4年</u> 50ユニット/5年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、以下に該当する場合は下表のとおりとする。 主たる工事内容が鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリートの場合</p> <p>・ 評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得ユニット数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(参考) 令和5年度に入札公告された案件の有効とする証明期間</u></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td><u>20ユニット/年の場合</u></td> <td><u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u></td> </tr> <tr> <td><u>40ユニット/2年の場合</u></td> <td><u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u></td> </tr> <tr> <td><u>60ユニット/3年の場合</u></td> <td><u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u></td> </tr> <tr> <td><u>80ユニット/4年の場合</u></td> <td><u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u></td> </tr> <tr> <td><u>100ユニット/5年の場合</u></td> <td><u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>②建築一式工事 (社)日本建築士連合会の建築士CPD制度または建築CPD運営会議の建築CPD（継続能力職能開発）情報提供制度に登録し、取得単位数が一定の水準を満たした場合に加点する。 ・証明する資料として、建築士連合会または建築CPD運営会議が発行する証明書の写しを提出すること。</p>	取得ユニット数	配点	推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年	1.0	推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年、20ユニット/2年 <u>30ユニット/3年、40ユニット/4年</u> 50ユニット/5年	0.5	上記以外	0	取得ユニット数	配点	推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年	0.5	上記以外	0	<u>20ユニット/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>	<u>40ユニット/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>	<u>60ユニット/3年の場合</u>	<u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u>	<u>80ユニット/4年の場合</u>	<u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u>	<u>100ユニット/5年の場合</u>	<u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u>	<p>・設計金額7,000万円以上で「(b)配置予定技術者の保有資格」を評価項目としない案件において評価項目とする。</p> <p>・証明する資料として、連合会が発行する証明書の写しの提出が必要であり、単一企業の社内研修会はユニット数算定の対象外とする場合がある。</p> <p>・証明書の証明日（証明期間の最終日）は、入札の申し込みを行った日から遡って3か月以内のものを有効とする。</p> <p>・ 評価基準（標準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得ユニット数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年 20ユニット/2年 50ユニット/5年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、以下に該当する場合は下表のとおりとする。 主たる工事内容が鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリートの場合</p> <p>・ 評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得ユニット数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>②建築一式工事 (社)日本建築士連合会の建築士CPD制度または建築CPD運営会議の建築CPD（継続能力職能開発）情報提供制度に登録し、取得単位数が一定の水準を満たした場合に加点する。 ・証明する資料として、建築士連合会または建築CPD運営会議が発行する証明書の写しを提出すること。</p>	取得ユニット数	配点	推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年	1.0	推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年 20ユニット/2年 50ユニット/5年	0.5	上記以外	0	取得ユニット数	配点	推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年	0.5	上記以外	0
取得ユニット数	配点																																						
推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年	1.0																																						
推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年、20ユニット/2年 <u>30ユニット/3年、40ユニット/4年</u> 50ユニット/5年	0.5																																						
上記以外	0																																						
取得ユニット数	配点																																						
推奨ユニット数以上 20ユニット/年、40ユニット/2年 <u>60ユニット/3年、80ユニット/4年</u> 100ユニット/5年	0.5																																						
上記以外	0																																						
<u>20ユニット/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>																																						
<u>40ユニット/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>																																						
<u>60ユニット/3年の場合</u>	<u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u>																																						
<u>80ユニット/4年の場合</u>	<u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u>																																						
<u>100ユニット/5年の場合</u>	<u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u>																																						
取得ユニット数	配点																																						
推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年	1.0																																						
推奨ユニット数の半分以上 10ユニット/年 20ユニット/2年 50ユニット/5年	0.5																																						
上記以外	0																																						
取得ユニット数	配点																																						
推奨ユニット数以上 20ユニット/年 40ユニット/2年 100ユニット/5年	0.5																																						
上記以外	0																																						

改正後 (R5.5.1)	現 行 (R4.4.1)																																
<p>・「<u>能力開発期間</u>」もしくは「<u>履修期間</u>」の有効とする証明期間は、今回発注する工事の入札公告日の属する年度から、<u>評価基準の年数（1年～2年のいずれか）に1年を加えた年数を遡った年度の4月1日から入札の申し込みを行った日まで</u>で、<u>評価基準の年数に応じた任意の連続した期間とする。</u></p> <p>・ 評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得単位数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) <u>令和5年度に入札公告された案件の有効とする証明期間</u></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td><u>12単位/年の場合</u></td> <td><u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u></td> </tr> <tr> <td><u>24単位/2年の場合</u></td> <td><u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>(D) 企業の地域性・社会性（様式第9号、第9号の4）（略）</p> <p>11 地域防災力維持型における評価項目および評価基準 入札公告および提出資料の様式等に評価内容を明確に記載し、必要に応じて記載内容が確認できる資料の添付、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し、配置予定技術者の年齢が確認できるもの（健康保険証等）の写し、1級国家資格者証の写し等、<u>(社)全国土木施工管理技士会連合会の発行する学習履歴証明書等の写し</u>、専門技術者の資格が確認できる資料（合格証明書等）を求める。 以下に、「福井県建設工事総合評価落札方式（地域防災力維持型）試行実施要領」に基づき、「10 評価項目および評価基準」と異なる事項について以下に示す。</p> <p>(A) 企業の技術力（様式第9号）（地域防災力維持型用）</p> <p>(a) 工事成績評価 福井県（土木三公社を除く）発注の工事で、「土木一式」工事における過去2か年度に完成検査を受けた工事成績評定点の平均点 <u>(小数点第2位以下切捨)</u> を評価する。<u>評価点数は、計算した結果の小数点第2位以下を切捨てるものとする。</u></p> <p>評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事成績評定点の平均</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80点以上</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td><u>70.5</u>点以上80点未満</td> <td>(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2</td> </tr> <tr> <td><u>70.5</u>点未満</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、過去2か年度の工事成績がない場合は、発注機関ごとに当該年度最初の落札1回に限り、「75点」を付与する。同じ入札日に複数の発注工事がある場合には、複数の工事に「75点」を申請できるが、開札順で最初に落札候補者となった1回のみを有効とする。</p> <p>(b)～(c) (略)</p> <p>(B) 配置予定技術者の技術力（様式第11号）（地域防災力維持型用）</p> <p>(a) (略)</p>	取得単位数	配点	推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年	0.5	上記以外	0	<u>12単位/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>	<u>24単位/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>	工事成績評定点の平均	配点	80点以上	2.0	<u>70.5</u> 点以上80点未満	(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2	<u>70.5</u> 点未満	0	<p>・証明書の「<u>能力開発期間</u>」もしくは「<u>履修期間</u>」の最終日が入札の申し込みを行った日から遡って3か月以内であるものを有効とする。</p> <p>・ 評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得単位数</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>(D) 企業の地域性・社会性（様式第9号、第9号の4）（略）</p> <p>11 地域防災力維持型における評価項目および評価基準 入札公告および提出資料の様式等に評価内容を明確に記載し、必要に応じて記載内容が確認できる資料の添付 <u>(工事成績評定の写し(国の成績評定を対象とする場合)、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し、配置予定技術者の年齢が確認できるもの(健康保険証等)の写し、1級国家資格者証の写し等、専門技術者の資格が確認できる資料(合格証明書等))</u> を求める。 以下に、「福井県建設工事総合評価落札方式（地域防災力維持型）試行実施要領」に基づき、「10 評価項目および評価基準」と異なる事項について以下に示す。</p> <p>(A) 企業の技術力（様式第9号）（地域防災力維持型用）</p> <p>(a) 工事成績評価 福井県（土木三公社を除く）発注の工事で、「土木一式」工事における過去2か年度に完成検査を受けた工事成績評定点の平均点 <u>(小数点第1位以下切捨)</u> を評価する。</p> <p>評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事成績評定点の平均</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80点以上</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td><u>71</u>点以上80点未満</td> <td>(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2</td> </tr> <tr> <td><u>71</u>点未満</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、過去2か年度の工事成績がない場合は、発注機関ごとに当該年度最初の落札1回に限り、「75点」を付与する。同じ入札日に複数の発注工事がある場合には、複数の工事に「75点」を申請できるが、開札順で最初に落札候補者となった1回のみを有効とする。</p> <p>(b)～(c) (略)</p> <p>(B) 配置予定技術者の技術力（様式第11号）（地域防災力維持型用）</p> <p>(a) (略)</p>	取得単位数	配点	推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年	0.5	上記以外	0	工事成績評定点の平均	配点	80点以上	2.0	<u>71</u> 点以上80点未満	(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2	<u>71</u> 点未満	0
取得単位数	配点																																
推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年	0.5																																
上記以外	0																																
<u>12単位/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>																																
<u>24単位/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>																																
工事成績評定点の平均	配点																																
80点以上	2.0																																
<u>70.5</u> 点以上80点未満	(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2																																
<u>70.5</u> 点未満	0																																
取得単位数	配点																																
推奨単位数以上 12単位/年 ※24単位/2年	0.5																																
上記以外	0																																
工事成績評定点の平均	配点																																
80点以上	2.0																																
<u>71</u> 点以上80点未満	(工事成績評定点の平均点-70) × 0.2																																
<u>71</u> 点未満	0																																

改正後 (R5.5.1)	現 行 (R4.4.1)																				
<p>(a-2) <u>配置予定技術者の(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) における取得ユニット数および年齢</u></p> <p><u>(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) に継続参加中であり、推奨ユニット数以上を取得している場合および年齢について加点する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>設計金額7千万円以上で「(a)配置予定技術者の保有する資格および年齢」を評価項目としない案件において評価項目とする。</u> ・ <u>証明する資料として、連合会が発行する証明書の写しの提出が必要であり、単一企業の社内研修会はユニット数算定の対象外とする場合がある。</u> ・ <u>有効とする証明期間は、今回発注する工事の入札公告日の属する年度から、評価基準の年数 (1年～5年のいずれか) に1年を加えた年数を遡った年度の4月1日から入札の申し込みを行った日までで、評価基準の年数に応じた任意の連続した期間とする。</u> <p>・ <u>評価基準</u></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><u>配置予定技術者の(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) における取得ユニット数および年齢</u></th> <th style="text-align: center;"><u>配点</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>40歳未満かつ推奨ユニット数以上を取得している</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.5</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>推奨ユニット数以上を取得している</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.0</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>35歳未満</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.5</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>上記以外</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0</u></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>40歳未満かつ推奨ユニット数以上を取得している技術者 (主任 (監理) 技術者) を配置する場合に評価する。</u> ・ <u>推奨ユニット数以上を取得している技術者 (主任 (監理) 技術者) を配置する場合に評価する。</u> ・ <u>35歳未満の技術者 (主任 (監理) 技術者) を配置する場合に評価する。</u> ・ <u>評価対象とする年齢は、当該工事の入札書提出日が属する年度の4月1日時点の年齢とする。</u> ・ <u>推奨ユニット数</u> <u>2.0ユニット/年、4.0ユニット/2年、6.0ユニット/3年、8.0ユニット/4年、10.0ユニット/5年のいずれかを満たすものとする。</u> <p>(参考) <u>令和5年度に入札公告された案件の有効とする証明期間</u></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>2.0ユニット/年の場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>4.0ユニット/2年の場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>6.0ユニット/3年の場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>8.0ユニット/4年の場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>10.0ユニット/5年の場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u></td> </tr> </tbody> </table>	<u>配置予定技術者の(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) における取得ユニット数および年齢</u>	<u>配点</u>	<u>40歳未満かつ推奨ユニット数以上を取得している</u>	<u>1.5</u>	<u>推奨ユニット数以上を取得している</u>	<u>1.0</u>	<u>35歳未満</u>	<u>0.5</u>	<u>上記以外</u>	<u>0</u>	<u>2.0ユニット/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>	<u>4.0ユニット/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>	<u>6.0ユニット/3年の場合</u>	<u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u>	<u>8.0ユニット/4年の場合</u>	<u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u>	<u>10.0ユニット/5年の場合</u>	<u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u>	<p>C) 企業の地域性・社会性 (様式第13号) (地域防災力維持型用) (略)</p> <p>12～13 (略)</p>
<u>配置予定技術者の(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) における取得ユニット数および年齢</u>	<u>配点</u>																				
<u>40歳未満かつ推奨ユニット数以上を取得している</u>	<u>1.5</u>																				
<u>推奨ユニット数以上を取得している</u>	<u>1.0</u>																				
<u>35歳未満</u>	<u>0.5</u>																				
<u>上記以外</u>	<u>0</u>																				
<u>2.0ユニット/年の場合</u>	<u>令和3年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した1年間</u>																				
<u>4.0ユニット/2年の場合</u>	<u>令和2年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した2年間</u>																				
<u>6.0ユニット/3年の場合</u>	<u>平成31年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した3年間</u>																				
<u>8.0ユニット/4年の場合</u>	<u>平成30年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した4年間</u>																				
<u>10.0ユニット/5年の場合</u>	<u>平成29年4月1日から入札の申し込みを行った日までの任意の連続した5年間</u>																				

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

14 落札者決定基準 (評価項目) [例]
(1) 土木一式工事

別記2 「土木一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)		別記2 「土木一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)	
分類	評 価 項 目	評 価 内 容	評 価 基 準
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	15.0
		(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
		上記以外	0.0
		8.0点以上	3.5
企業 の 技 術 力	(b) 工事成績 [業種：土木一式] (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事(〇〇〇〇〇))の過去2か年度の企業工事成績評定点の平均点(一定の点数を満たしているか?)	7.0点以上 8.0点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3+0.5 7.0点未満
		0.5~ 3.4	
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 [業種：土木一式] (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)
		0.5 0.0	
		(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか? 上記以外
		0.5 0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの (例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの 上記以外
		1.5 1.0 0.0	
		(b) 配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有 上記以外
		1.0 0.0	
		(b-2) 配置予定技術者の保有する資格	左記①および②の資格を保有 左記①または②の資格を保有 上記以外
		1.0 0.5 0.0	
		(b-3) 配置予定技術者の保有する資格	コンクリートの品質確保に資する資格 上記以外
		0.5 0.0	
		(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の中で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐 上記以外
		0.5 0.0	
3 ・ 5 点	(d) 優良工事表彰受賞経験 [業種：土木一式] (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)
		0.5 0.0	
		(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)における取得ユニット数 [推奨ユニット数] 1年間で2.0ユニット以上 2年間で4.0ユニット以上 3年間で6.0ユニット以上 4年間で8.0ユニット以上 5年間で10.0ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの
		1.0 0.5 0.0	
		(e-2) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)における取得ユニット数 [推奨ユニット数] 1年間で2.0ユニット以上 2年間で4.0ユニット以上 3年間で6.0ユニット以上 4年間で8.0ユニット以上 5年間で10.0ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの
		0.5 0.0	
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり) 〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり) 上記以外
		2.5 1.0 0.0	
		(b) 社会貢献度	①広域防災への取組 取組あり 取組なし
		0.5 0.0	
		②福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし
		1.0 0.0	
		(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業(凍結防止剤散布を含む)の契約を締結した実績の有無
		1.0 0.0	
		(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する
		0.5 0.0	
技術提案を求めない簡易型		30.0	
技術提案を求めない簡易型		15.0	

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書 [別表] 県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および (2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。
※ 入札に参加する者に必要な資格において配置予定技術者の保有資格を1級土木施工管理技士のみ求めている場合には、1級土木施工管理技士の資格は評価の対象としない。
※ 主たる工事が鉄筋コンクリートまたはプレストレストコンクリート工事の場合においては、配置予定技術者の技術力について (b) (e) に代わり、(b-2) または (b-3) 、(e-2) で評価する。
※ 「継続学習」は設計金額7,000万円以上において、配置予定技術者の一級土木施工管理技士の資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

別表1 (略)

14 落札者決定基準 (評価項目) [例]
(1) 土木一式工事

別記2 「土木一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)		別記2 「土木一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)	
分類	評 価 項 目	評 価 内 容	評 価 基 準
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	15.0
		(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
		上記以外	0.0
		8.0点以上	3.5
企業 の 技 術 力	(b) 工事成績 [業種：土木一式] (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事(〇〇〇〇〇))の過去2か年度の企業工事成績評定点の平均点(一定の点数を満たしているか?)	7.0点以上 8.0点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3+0.5 7.0点未満
		0.5~ 3.2	
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 [業種：土木一式] (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)
		0.5 0.0	
		(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか? 上記以外
		0.5 0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの (例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの 上記以外
		1.5 1.0 0.0	
		(b) 配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有 上記以外
		1.0 0.0	
		(b-2) 配置予定技術者の保有する資格	左記①および②の資格を保有 左記①または②の資格を保有 上記以外
		1.0 0.5 0.0	
		(b-3) 配置予定技術者の保有する資格	コンクリートの品質確保に資する資格 上記以外
		0.5 0.0	
		(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の中で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐 上記以外
		0.5 0.0	
3 ・ 5 点	(d) 優良工事表彰受賞経験 [業種：土木一式] (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)
		0.5 0.0	
		(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)における取得ユニット数 [推奨ユニット数] 1年間で2.0ユニット以上 2年間で4.0ユニット以上 3年間で6.0ユニット以上 4年間で8.0ユニット以上 5年間で10.0ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの
		1.0 0.5 0.0	
		(e-2) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)における取得ユニット数 [推奨ユニット数] 1年間で2.0ユニット以上 2年間で4.0ユニット以上 3年間で6.0ユニット以上 4年間で8.0ユニット以上 5年間で10.0ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの
		0.5 0.0	
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり) 〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり) 上記以外
		2.5 1.0 0.0	
		(b) 社会貢献度	①広域防災への取組 取組あり 取組なし
		0.5 0.0	
		②福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし
		1.0 0.0	
		(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業(凍結防止剤散布を含む)の契約を締結した実績の有無
		1.0 0.0	
		(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する
		0.5 0.0	
技術提案を求めない簡易型		30.0	
技術提案を求めない簡易型		15.0	

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書 [別表] 県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および (2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。
※ 入札に参加する者に必要な資格において配置予定技術者の保有資格を1級土木施工管理技士のみ求めている場合には、1級土木施工管理技士の資格は評価の対象としない。
※ 主たる工事が鉄筋コンクリートまたはプレストレストコンクリート工事の場合においては、配置予定技術者の技術力について (b) (e) に代わり、(b-2) または (b-3) 、(e-2) で評価する。
※ 「継続学習」は設計金額7,000万円以上において、配置予定技術者の一級土木施工管理技士の資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

別表1 (略)

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

(2) 鋼構造物工事

別記3 「鋼構造物工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)						
分類	評価項目	評 価 内 容	評 価 基 準	評価点数		
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0		
企業 の 技 術 力 6 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日までの)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5		
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0		
			上記以外	0.0		
	(b) 工事成績 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事（〇〇〇〇））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	0.5～ 3.4 0.0		
	(c) 優良工事表彰 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.5 0.0		
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。 上記以外	0.5 0.0		
	(e) 技能資格を保有する自社雇用技能者の配置	主たる鉄工作业（※）のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事するか?	左記の内容のとおり従事する 上記以外	0.5 0.0		
	配 置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日までの)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
				(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
				上記以外	0.0	
(b) 配置予定技術者の保有する資格		配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0		
(c) 若手担当技術者の常駐		専任の監理技術者等の中で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐 上記以外	0.5 0.0		
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)		過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.5 0.0		
(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況		(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）における取得ユニット数 〔推奨ユニット数〕	1年間で20ユニット以上 2年間で40ユニット以上 3年間で60ユニット以上 4年間で80ユニット以上 5年間で100ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの	推奨ユニット数以上を取得している 推奨ユニット数の半分以上を取得している 上記以外	1.0 0.5 0.0	
			(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市（町）に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり) 〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり) 上記以外	2.5 1.0 0.0
				(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし
企業 の 地 域 性 、 社 会 性 4 ・ 0 点		(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する（別表1参照） ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用（福井県内で生産された資材を含む） 発注者指定の品目（特記仕様書 別表 参照）に県産品を活用する	(1) および (2) を満たす 上記以外	0.5 0.0	
	技術提案を求める標準型			29.0		
満点		技術提案を求めない簡易型		14.0		

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。
3. 特記仕様書〔別表〕県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および (2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
4. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
5. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

(※) 「主たる鉄工作业」とは、工場製作における、仮付けのための書き作業、仮付け作業、溶接作業、仮組立作業のことをいう。また、当評価項目が加点され契約した工事において、主たる鉄工作业の一部でも下請けに出した場合は、または主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

※「継続学習」は設計金額7,000万円以上において、配置予定技術者の一級土木施工管理技士の資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

別表1 (略)

(2) 鋼構造物工事

別記3 「鋼構造物工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)						
分類	評価項目	評 価 内 容	評 価 基 準	評価点数		
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0		
企業 の 技 術 力 6 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日までの)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5		
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0		
			上記以外	0.0		
	(b) 工事成績 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事（〇〇〇〇））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	0.5～ 3.2 0.0		
	(c) 優良工事表彰 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.5 0.0		
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。 上記以外	0.5 0.0		
	(e) 技能資格を保有する自社雇用技能者の配置	主たる鉄工作业（※）のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事するか?	左記の内容のとおり従事する 上記以外	0.5 0.0		
	配 置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日までの)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
				(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
				上記以外	0.0	
(b) 配置予定技術者の保有する資格		配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0		
(c) 若手担当技術者の常駐		専任の監理技術者等の中で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐 上記以外	0.5 0.0		
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：鋼構造物〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)		過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.5 0.0		
(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況		(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）における取得ユニット数 〔推奨ユニット数〕	1年間で20ユニット以上 2年間で40ユニット以上 3年間で60ユニット以上 4年間で80ユニット以上 5年間で100ユニット以上 のうちいずれかを満たすもの	推奨ユニット数以上を取得している 推奨ユニット数の半分以上を取得している 上記以外	1.0 0.5 0.0	
			(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市（町）に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり) 〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり) 上記以外	2.5 1.0 0.0
				(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし
企業 の 地 域 性 、 社 会 性 4 ・ 0 点		(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する（別表1参照） ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用（福井県内で生産された資材を含む） 発注者指定の品目（特記仕様書 別表 参照）に県産品を活用する	(1) および (2) を満たす 上記以外	0.5 0.0	
	技術提案を求める標準型			29.0		
満点		技術提案を求めない簡易型		14.0		

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。
3. 特記仕様書〔別表〕県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および (2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
4. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
5. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

(※) 「主たる鉄工作业」とは、工場製作における、仮付けのための書き作業、仮付け作業、溶接作業、仮組立作業のことをいう。また、当評価項目が加点され契約した工事において、主たる鉄工作业の一部でも下請けに出した場合は、または主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

※「継続学習」は設計金額7,000万円以上において、配置予定技術者の一級土木施工管理技士の資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

別表1 (略)

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

(3) 建築一式工事

別記4 「建築一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間の企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 「業種：建築一式」 (令和〇～〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事）の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	0.5～3.4 0.0
	(c) 優良工事表彰 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	県の成績を有しない場合において、過去5か年度に元請として完成した、発注工事と同種同程度以上の民間工事等が、建築基準法の規定に適合していることを証明できるものであるか？	同種同程度の民間工事等の工事実績について、建築基準法の規定による検査済証および中間検査合格証（中間検査が不要なものを除く）の写しまたは検査機関発行のこれらに代わる証明書を提出できる場合	1.0
上記以外			0.0	
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得している？	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
配 置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 4 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有資格	配置予定技術者の保有する資格	一級建築士かつ1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円以上の工事） 一級建築士または1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円未満の工事）	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、一級建築士または1級建築施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
上記以外			0.0	
(d) 優良工事表彰受賞経験 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間の福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	建築士会C.P.D制度または建築C.P.D(継続能力/職能開発)情報提供制度における取得単位数 【推奨単位数】12単位/年間 または、24単位/2年間	推奨単位数以上を取得している	0.5	
		上記以外	0.0	
企業 の 地 域 性 、 社 会 性 5 ・ 0 点	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度	企業内の福井県震災建築物応急危険度判定士の有無	3名以上（設計金額2億円を超える工事） 2名以上（設計金額2億円以下の工事）	0.5
上記以外			0.0	
福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無			災害協定の締結あり 0.5 災害協定の締結なし 0.0	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合 ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目数以上(〇〇品目以上)	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満点			技術提案を求めない簡易型	15.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については、別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

別紙1 (略)

(3) 建築一式工事

別記4 「建築一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間の企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 「業種：建築一式」 (令和〇～〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事）の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	0.5～3.2 0.0
	(c) 優良工事表彰 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	県の成績を有しない場合において、過去5か年度に元請として完成した、発注工事と同種同程度以上の民間工事等が、建築基準法の規定に適合していることを証明できるものであるか？	同種同程度の民間工事等の工事実績について、建築基準法の規定による検査済証および中間検査合格証（中間検査が不要なものを除く）の写しまたは検査機関発行のこれらに代わる証明書を提出できる場合	1.0
上記以外			0.0	
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得している？	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
配 置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 4 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有資格	配置予定技術者の保有する資格	一級建築士かつ1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円以上の工事） 一級建築士または1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円未満の工事）	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、一級建築士または1級建築施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
上記以外			0.0	
(d) 優良工事表彰受賞経験 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間の福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	建築士会C.P.D制度または建築C.P.D(継続能力/職能開発)情報提供制度における取得単位数 【推奨単位数】12単位/年間 または、24単位/2年間	推奨単位数以上を取得している	0.5	
		上記以外	0.0	
企業 の 地 域 性 、 社 会 性 5 ・ 0 点	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度	企業内の福井県震災建築物応急危険度判定士の有無	3名以上（設計金額2億円を超える工事） 2名以上（設計金額2億円以下の工事）	0.5
上記以外			0.0	
福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無			災害協定の締結あり 0.5 災害協定の締結なし 0.0	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合 ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目数以上(〇〇品目以上)	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満点			技術提案を求めない簡易型	15.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については、別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

別紙1 (略)

改正後 (R5.5.1)

現行 (R4.4.1)

(4) 舗装工事

(4) 舗装工事

別記5 「舗装工事」評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：舗装〕 (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事(〇〇〇〇))の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5~ 3.4
(c) 優良工事表彰 〔業種：舗装〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0	
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。	0.5	
		上記以外	0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級舗装施工管理技術者の資格を保有	1.0
			2級舗装施工管理技術者の資格を保有	0.5
(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5	
		上記以外	0.0	
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：舗装〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0	
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業(凍結防止剤散布を含む)の契約を締結した実績の有無	自社保有のグレードによる除雪契約実績あり	1.0	
		上記以外の除雪作業の契約実績あり	0.5	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満点	技術提案を求める標準型			29.5
	技術提案を求めない簡易型			14.5

別記5 「舗装工事」評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：舗装〕 (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、〇〇地方整備局が発注する工事(〇〇〇〇))の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5~ 3.2
(c) 優良工事表彰 〔業種：舗装〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0	
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。	0.5	
		上記以外	0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級舗装施工管理技術者の資格を保有	1.0
			2級舗装施工管理技術者の資格を保有	0.5
(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5	
		上記以外	0.0	
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：舗装〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0	
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業(凍結防止剤散布を含む)の契約を締結した実績の有無	自社保有のグレードによる除雪契約実績あり	1.0	
		上記以外の除雪作業の契約実績あり	0.5	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満点	技術提案を求める標準型			29.5
	技術提案を求めない簡易型			14.5

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の内容の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の内容の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

別表1 (略)

別表1 (略)

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

(5) 法面処理工事

(5) 法面処理工事

別記6 「法面処理工事」評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 〔業種：法面処理〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：法面処理〕 (令和○年度から令和○年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事（○○○○○））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～ 3.4		
	70点未満	0.0		
(c) 優良工事表彰 〔業種：法面処理〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.0			
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメント ISO9001 認証を取得しているか？	ISO9001 認証を取得している。	0.5	
上記以外	0.0			
(e) 技能資格を保有する自社雇用技能者の配置 (※)	発注者が指定する下記の工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事するか？	左記の内容のとおり従事する	0.5	
指定工種 【○○○○○○○】	上記以外	0.0		
配 置 予 定 技 術 者 の 3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	のり面施工管理技術者、グラウンドアンカー施工士、地すべり防止工事士のいずれかの資格を保有 (案件により設定)	1.0
	上記以外	0.0		
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
上記以外	0.0			
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：法面処理〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.0	
企 業 の 地 域 性 、 社 会 性 4 ・ 0 点	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
災害協定の締結なし	0.0			
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する（別表1参照） ① 元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目（特記仕様書 別表 参照）に県産品を活用する。	(1) および(2) を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満 点	技術提案を求める標準型			29.0
	技術提案を求めない簡易型			14.0

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。
3. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
4. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
5. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限り。
※ 当該評価項目が加点され契約した工事において、発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

別表1 (略)

別記6 「法面処理工事」評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 〔業種：法面処理〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：法面処理〕 (令和○年度から令和○年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事（○○○○○））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～ 3.2		
	70点未満	0.0		
(c) 優良工事表彰 〔業種：法面処理〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.0			
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメント ISO9001 認証を取得しているか？	ISO9001 認証を取得している。	0.5	
上記以外	0.0			
(e) 技能資格を保有する自社雇用技能者の配置 (※)	発注者が指定する下記の工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事するか？	左記の内容のとおり従事する	0.5	
指定工種 【○○○○○○○】	上記以外	0.0		
配 置 予 定 技 術 者 の 3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	のり面施工管理技術者、グラウンドアンカー施工士、地すべり防止工事士のいずれかの資格を保有 (案件により設定)	1.0
	上記以外	0.0		
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級土木施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
上記以外	0.0			
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：法面処理〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.0	
企 業 の 地 域 性 、 社 会 性 4 ・ 0 点	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
災害協定の締結なし	0.0			
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する（別表1参照） ① 元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目（特記仕様書 別表 参照）に県産品を活用する。	(1) および(2) を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
満 点	技術提案を求める標準型			29.0
	技術提案を求めない簡易型			14.0

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。
3. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2) を満たす」を「(1) を満たす」と読み替える。
4. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
5. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限り。
※ 当該評価項目が加点され契約した工事において、発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

別表1 (略)

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)					現行 (R4.4.1)				
(6) 管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事 (営繕系を除く)					(6) 管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事 (営繕系を除く)				
別記7 「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」(営繕系を除く) 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)					別記7 「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」(営繕系を除く) 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数	分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0	(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技術 力	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 工事成績 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	3.5 0.5~ 3.4 0.0	(b) 工事成績 〔業種：〇〇工事〕 (平成〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	3.5 0.5~ 3.2 0.0	
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間に於ける福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	(c) 優良工事表彰 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間に於ける福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
			優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.0			優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.0	
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。	0.5	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	ISO9001認証を取得している。	0.5	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0	
(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級〇〇施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級〇〇施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5		
		上記以外	0.0			上記以外	0.0		
(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間に於ける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5	(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間に於ける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5		
		優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.0			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.0		
企業 の 地域 性、 社会 性	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5	
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし	1.0 0.0	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし	1.0 0.0	
(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度) 営繕工事(営繕系を除く)のみ適用	過去2か年度における県または市町と消雪施設点検の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0	(c) 地域貢献度 (令和〇年度または令和〇年度) 営繕工事(営繕系を除く)のみ適用	過去2か年度における県または市町と消雪施設点検の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0		
		実績なし	0.0			実績なし	0.0		
5 ・ 0 点	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	(1)および(2)を満たす	0.5	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	(1)および(2)を満たす	0.5	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
満 点	技術提案を求める標準型			29.5	技術提案を求める標準型			29.5	
	技術提案を求めない簡易型			14.5	技術提案を求めない簡易型			14.5	
(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。 2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1)および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。 3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。 4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。					(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。 2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1)および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。 3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。 4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。				

別表1 (略)

別表1 (略)

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)					現 行 (R4.4.1)				
(7) 管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事 (営繕系)					(7) 管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事 (営繕系)				
別記8 「営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)					別記8 「営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数	分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0	(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技術 力	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 工事成績 〔業種：〇〇工事〕 (平成〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5~ 3.4	(b) 工事成績 〔業種：〇〇工事〕 (平成〇年度から令和〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5~ 3.2	
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	(c) 優良工事表彰 〔業種：〇〇工事〕 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0	
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメント ISO9001 認証を取得しているか?	ISO9001 認証を取得している。	0.5	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメント ISO9001 認証を取得しているか?	ISO9001 認証を取得している。	0.5	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか?	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇施工管理技士の資格を保有	1.0	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇施工管理技士の資格を保有	1.0	
企業 の 地 域 性 、 社 会 性	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5	
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり(福井県内に主たる営業所あり)	1.0			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり(福井県内に主たる営業所あり)	1.0	
			上記以外	0.0			上記以外	0.0	
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0	
5 ・ 0 点	(c) 地域貢献度	福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定の有無(※1)	災害協定の締結あり	1.0	(c) 地域貢献度	福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定の有無(※1)	災害協定の締結あり	1.0	
			災害協定の締結なし	0.0			災害協定の締結なし	0.0	
	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する	(1)および(2)を満たす	0.5	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する	(1)および(2)を満たす	0.5	
		(2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(別紙2)のうち〇〇品目以上に県産品を活用する	上記以外	0.0			上記以外	0.0	
満点	技術提案を求める標準型			29.5	技術提案を求める標準型			29.5	
	技術提案を求めない簡易型			14.5	技術提案を求めない簡易型			14.5	
(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。 2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。 3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。 4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。					(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。 2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。 3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。 4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。				
※1 管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。					※1 管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。				
別紙1～技術資料(様式第4号) (略)					別紙1～技術資料(様式第4号) (略)				

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(土木一式工事)

工事名
工事場所
○○○○○○○○○工事
○○○○川 ○○市○○

企業名	企業の技術力										配属予定技術者										企業の地域性・社会性				技術評価点	
	様式第9号					様式第9号・10号					様式第11号					様式第9号					様式第9号					
	施工実績の有無		優良工事		ISO認証の有無	施工実績		保有資格		若手担当技術者常駐の有無		優良工事		継続学習	地域貢献度		社会貢献度		国内企業および県産品の採用		地域貢献度		国内企業および県産品の採用			
	有無	加算点	有無	加算点	有無	件数	平均	件数	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無		加算点
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	6.0	※1	1.5	一般土木	1.0	有	0.5	有	0.5	〇〇市	2.5	有	1.0	有	1.0	有	1.0	有	0.5	5.5
最小	※2	1.0	有	0.5	70点未満	0.0	0.0	※2	1.0	その他	0.0	無	0.0	その他	0.0	〇〇土木管	1.0	有	0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	15.0
平均																										
自己評価点																										0.0

注意
 ・事後審査型の案件において、入札公告に依り、入札書と同時に提出する。
 ・入札公告に添付された評価基準表に依り、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
 ・評価対象となっていない項目については空欄とする。
 ・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
 ・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
 ・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
 ・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

- ※1 施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
- ※2 施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

改正後 (R5.5.1)

現行 (R4.4.1)

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(土木一式工事)

工事名
工事場所
○○○○○○○○○工事
○○○○川 ○○市○○

企業名	企業の技術力										配属予定技術者										企業の地域性・社会性				技術評価点	
	様式第9号					様式第9号・10号					様式第11号					様式第9号					様式第9号					
	施工実績の有無		優良工事		ISO認証の有無	施工実績		保有資格		若手担当技術者常駐の有無		優良工事		継続学習	地域貢献度		社会貢献度		国内企業および県産品の採用		地域貢献度		国内企業および県産品の採用			
	有無	加算点	有無	加算点	有無	件数	平均	件数	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無		加算点
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	6.0	※1	1.5	一般土木	1.0	有	0.5	有	0.5	〇〇市	2.5	有	1.0	有	1.0	有	1.0	有	0.5	5.5
最小	※2	1.0	有	0.5	70点未満	0.0	0.0	※2	1.0	その他	0.0	無	0.0	その他	0.0	〇〇土木管	1.0	有	0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	15.0
平均																										
自己評価点																										0.0

注意
 ・事後審査型の案件において、入札公告に依り、入札書と同時に提出する。
 ・入札公告に添付された評価基準表に依り、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
 ・評価対象となっていない項目については空欄とする。
 ・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
 ・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
 ・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
 ・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

- ※1 施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
- ※2 施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(調構造物工事)

工事名 ○○○○○○○○工事
工事場所 ○○○○川 ○○市○○

企業名	企業の技術力												企業の特長性・社会性				技術評価点					
	様式第9号・10号						配属予定技術者						様式第9号									
	様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第11号		様式第11号		様式第11号		様式第9号		様式第9号			様式第9号				
	施工実績の有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	若手担当技術者等駐在の有無	優良工事加算申請の有無	継続学習	地域精通度	社会貢献度	社内企業および関係商品の活用	有無	加算点	有無	加算点		有無	加算点			
最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上 (工事実績評価点の平均値) > 80.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	有	1.0	有	1.0	有	0.5	4.0	13.5	
最小	※2	1.0	有	0.5	有	0.5	70点未満	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	~	
平均							78.9		3.1		5.1		1.0		※2		1.0		0.0		1.5	10.6

自己評価点

※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

注 意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所にのみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績 (総額) のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績 (総額) のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

様式第4号の2
(調構造物工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事
工事場所 ○○○○川 ○○市○○

企業名	企業の技術力												企業の特長性・社会性				技術評価点					
	様式第9号・10号						配属予定技術者						様式第9号									
	様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第11号		様式第11号		様式第11号		様式第9号		様式第9号			様式第9号				
	施工実績の有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	若手担当技術者等駐在の有無	優良工事加算申請の有無	継続学習	地域精通度	社会貢献度	社内企業および関係商品の活用	有無	加算点	有無	加算点		有無	加算点			
最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上 (工事実績評価点の平均値) > 80.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	有	1.0	有	1.0	有	0.5	4.0	13.5	
最小	※2	1.0	有	0.5	有	0.5	70点未満	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	~	
平均							79		3.2		5.2		1.0		※2		1.0		0.0		1.5	10.7

自己評価点

※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

注 意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所にのみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績 (総額) のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績 (総額) のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

様式第4号の2
(建築一式工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○○○工事
工事場所 ○○市○○

配点	企業の技術力				配置予定技術者の技術力				企業の地域性・社会性				技術評価点											
	様式第9号		様式第10号または10号の2		様式第11号		様式第11号		様式第9号		様式第9号		小計		小計									
	施工実績の有無	加算点	ISO認証の有無	加算点	施工経験の有無	加算点	保有資格	加算点	保有資格	加算点	社会貢献度	加算点	社会貢献度	加算点		地域貢献度	加算点							
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	0.5	※3	1.5	有	0.5	1.0	有	0.5	2.5	有	1.0	有	0.5	有	0.5	5.0	15.0	
	※2	1.0			70.0~79.9点 (工事実績評定率の平均点×70) ×0.3+0.5	0.5																	~	
最小	その他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0
記載例1	○	1.0	無	0.0	有	0.5	6	※2	1.0	無	0.0	有	0.5	6	76.8	2.5	0.0	0.0	有	0.5	有	0.5	0.0	8.5
記載例2	○	1.0	無	0.0	有	0.5	6	※2	1.0	無	0.0	有	0.5	6	民間	1.0	2.5	0.0	有	0.5	有	0.5	0.0	7.0
自己評価点	○	0.0				0.0																	0.0	0.0

(平均点は少数第2位以下を切捨てた少数第1位までの数値とし、加算点は計算した結果の小数第2位以下を切捨てず)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、毎井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

- ※1 (例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
- ※2 (例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの
- ※3 (例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの

様式第4号の2
(建築一式工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○○○工事
工事場所 ○○市○○

配点	企業の技術力				配置予定技術者の技術力				企業の地域性・社会性				技術評価点											
	様式第9号		様式第10号または10号の2		様式第11号		様式第11号		様式第9号		様式第9号		小計		小計									
	施工実績の有無	加算点	ISO認証の有無	加算点	施工経験の有無	加算点	保有資格	加算点	保有資格	加算点	社会貢献度	加算点	社会貢献度	加算点		地域貢献度	加算点							
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	6.0	※3	1.5	有	0.5	1.0	有	0.5	2.5	有	1.0	有	0.5	有	0.5	5.0	15.0	
	※2	1.0			70.0~79.9点 (工事実績評定率の平均点×70) ×0.3+0.5	0.5																	~	
最小	その他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0
記載例1	○	1.0	無	0.0	有	0.5	6	※2	1.0	無	0.0	有	0.5	6	75	2.0	3.5	0.0	有	0.5	有	0.5	0.0	8.0
記載例2	○	1.0	無	0.0	有	0.5	6	※2	1.0	無	0.0	有	0.5	6	民間	1.0	2.5	0.0	有	0.5	有	0.5	0.0	7.0
自己評価点	○	0.0				0.0																	0.0	0.0

(平均点は少数第1位を切捨てた数値で入力のこと)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、毎井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

- ※1 (例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
- ※2 (例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの
- ※3 (例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(舗装工事)

工事名 ○○○○○○舗装工事
 工事場所 ○○○○線 ○○市○○

企業名	企業の技術力										配属予定技術者						企業の地域性・社会性				技術評価点	
	様式第9号					様式第10号					様式第11号			様式第9号			小計			小計		合計
	施工実績の有無		ISO認証の有無		工事成績	施工経験の有無		保有資格	若手担当技術者常駐の有無		優良工事 加算申請の有無	地域貢献度		社会貢献度 福井県との 取組等の継続	地域貢献度		県内企業および県 産品の活用	小計				
	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (4.5~4.9)	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点		

最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上 (70.9~79.9点 の工事成績評定点 の0.3+0.3)	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	3.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	5.0	14.5
最小	その他	0.0	無	0.0	無	70点未満	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

※1	1.0	有	0.5	7	77.8	2.8	4.8	※2	1.0	二級舗装	0.5	有	0.5	無	0.0	2.0	○○市	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	5.0	11.8
----	-----	---	-----	---	------	-----	-----	----	-----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	---	-----	-------	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(平均点は小数点第二位以下を切り捨てた小数点第一位までの数値とし、加算点は計算した結果の小数点第二位以下を切り捨てる)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1

施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの

様式第4号の2
(舗装工事)

工事名 ○○○○○○舗装工事
 工事場所 ○○○○線 ○○市○○

技術資料自己評価申請書

企業名	企業の技術力										配属予定技術者						企業の地域性・社会性						技術評価点		
	様式第9号					様式第10号					様式第11号			様式第9号			様式第9号			小計			小計		合計
	施工実績の有無		優良工事 加算申請の有無		ISO認証の有無	工事成績		施工経験の有無		保有資格	若手担当技術者常駐の有無		優良工事 加算申請の有無	地域貢献度		社会貢献度 福井県との 取組等の継続	地域貢献度		県内企業および県 産品の活用	小計					
	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (4.5~4.9)	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	

配点

最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上 (70~79点 の工事成績評定点 の平均点-70) × 0.3+0.3	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	3.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	5.0	14.5
最小	その他	0.0	無	0.0	無	70点未満	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

※1	1.0	有	0.5	7	79	3.2	5.2	※2	1.0	二級舗装	0.5	有	0.5	無	0.0	2.0	○○市	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	5.0	12.2
----	-----	---	-----	---	----	-----	-----	----	-----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	---	-----	-------	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1

施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの

改正後 (R5.5.1)

現行 (R4.4.1)

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(法面処理工事)

工事名 ○○○○○法面工事
工事場所 ○○○○地区 ○○市○○

企業の技術力		配属予定技術者				企業の地域性・社会性				技術評価点			
企業名		様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第9号		小計		小計	
企業名	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 点(0.0-10.0)	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点

最大	※1	1.5	有	0.5	有	80点以上	3.5	6.0	※1	1.5	有	1.0	有	0.5	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	4.0	13.5	
※2	1.0					75.0~79.9点 （工事実績評価点の 平均点）	~		※2	1.0						○○ 市本管内	1.0							~
最小	その他	0.0	無	0.0	無	70点未満	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0	

記載例

※1	1.0	有	0.5	有	0.5	77.3	2.6	4.6	※2	1.0	クラウンアンカー	1.0	有	0.5	無	0.0	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	4.0	11.1
----	-----	---	-----	---	-----	------	-----	-----	----	-----	----------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

※1	0.0					0.0	0.0	0.0																0.0
----	-----	--	--	--	--	-----	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

(平均点は小数点第二位以下を切り捨てた小数点第一位までの数値とし、加算点は計算した結果の小数点第二位以下を切り捨てる)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの																						
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの																						

様式第4号の2
(法面処理工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○法面工事
工事場所 ○○○○地区 ○○市○○

企業の技術力		配属予定技術者				企業の地域性・社会性				技術評価点			
企業名		様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第9号		小計		小計	
企業名	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 点(0.0-10.0)	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点

最大	※1	1.5	有	0.5	有	80点以上	3.5	6.0	※1	1.5	有	1.0	有	0.5	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	4.0	13.5
※2	1.0					70~79.9点 （工事実績評価点の 平均点）	~		※2	1.0						○○ 市本管内	1.0						~
最小	その他	0.0	無	0.0	無	70点未満	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

※1	1.0	有	0.5	有	0.5	79	3.2	5.2	※2	1.0	クラウンアンカー	1.0	有	0.5	無	0.0	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	4.0	11.7
----	-----	---	-----	---	-----	----	-----	-----	----	-----	----------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

※1	0.0					0.0	0.0	0.0																0.0
----	-----	--	--	--	--	-----	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの																						
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの																						

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(管・電気・電気通信・機械器具設置・消防施設工事) (営繕系)

工事名 ○○○○○○○○工事
工事場所 ○○○○ ○○市○○

企業名	企業の技術力				配置予定技術者				企業の地域性・社会性				技術評価点											
	様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第9号		小計		小計		小計		合計									
	施工実績の有無	150認証有無	優良工事 加算申請の有無	工事成績	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐 の有無	優良工事 加算申請の有無	地域特通度 主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点										
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上 <small>(70点×0.9+72点×0.1) 平均点=70×0.9+72×0.1 0.5</small>	3.5	6.0	※1	1.5	一級管	1.0	有	0.5	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	5.0	14.5		
最小	※2	1.0			～			※2	1.0						○○ 土木管 内	1.0								～
その他	他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	0.0	他	0.0	その他	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0	0.0	

企業名	最大	最小	その他
※1	1.0	無	0.0
※2	1.0	無	0.0

自己評価点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注意
・事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
・入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
・評価対象となっていない項目については空欄とすること。
・『地域貢献度』（様式第9号）の項目については、「福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定」の有無を記載すること。
・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

技術資料自己評価申請書

様式第4号の2
(管・電気・電気通信・機械器具設置・消防施設工事) (営繕系)

工事名 ○○○○○○○○工事
工事場所 ○○○○ ○○市○○

企業名	企業の技術力				配置予定技術者				企業の地域性・社会性				技術評価点										
	様式第9号		様式第10号		様式第11号		様式第9号		小計		小計		小計		合計								
	施工実績の有無	150認証有無	優良工事 加算申請の有無	工事成績	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐 の有無	優良工事 加算申請の有無	地域特通度 主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点		有無	加算点						
最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上 <small>(70点×0.9+72点×0.1) 平均点=70×0.9+72×0.1 0.5</small>	3.5	6.0	※1	1.5	一級管	1.0	有	0.5	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	5.0	14.5	
最小	※2	1.0			～			※2	1.0						○○ 土木管 内	1.0							～
その他	他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	0.0	他	0.0	その他	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0	

企業名	最大	最小	その他
※1	1.0	無	0.0
※2	1.0	無	0.0

自己評価点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注意
・事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
・入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
・評価対象となっていない項目については空欄とすること。
・『地域貢献度』（様式第9号）の項目については、「福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定」の有無を記載すること。
・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZIP形式により圧縮すること。
・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)	
(様式第5号)		様式第5号)	
(用紙A4)		(用紙A4)	
(1) 品質に係る提案 (1-O)		(1) 品質に係る提案 (1-O)	
■ 項 目	品質向上に係る提案	■ 項 目	品質向上に係る提案
<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 		<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) 特徴 効果 	
<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-1】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-1】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p>		<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-1】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-1】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p> <p>注5：当項目に関する本様式の枚数は1枚とする。なお、図表等の記載用に、A4用紙1枚のみを追加できるものとする。規定の枚数を超えた場合は、<u>当項目の提案すべてを0点とする。</u></p>	
P O/O		P O/O	

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)	
(様式第6号)	(用紙A4)	(様式第6号)	(用紙A4)
(2) 施工上の課題に係る提案 (2-0)		(2) 施工上の課題に係る提案 (2-0)	
■ 項 目	施工上の課題に係る提案	■ 項 目	施工上の課題に係る提案
<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 		<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 	
<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-0】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-0】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p>		<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-0】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-0】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p> <p>注5：当項目に関する本様式の枚数は1枚とする。なお、図表等の記載用に、A4用紙1枚のみを追加できるものとする。規定の枚数を超えた場合は、<u>当項目の提案すべてを0点とする。</u></p>	
[P O / O]		[P O / O]	

改正後 (R5.5.1)

現 行 (R4.4.1)

(様式第7号)

(用紙A4)

(3) 工程に係る提案 (3-0)

■ 項 目	工程に係る提案
【提案-1】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
【提案-2】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
【提案-3】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-0】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-0】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p>	

[P O/O]

(様式第7号)

(用紙A4)

(3) 工程に係る提案 (3-0)

■ 項 目	工程に係る提案
【提案-1】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
【提案-2】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
【提案-3】	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果
<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-0】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-0】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p> <p>注5：当項目に関する本様式の枚数は1枚とする。なお、図表等の記載用に、A4用紙1枚のみを追加できるものとする。規定の枚数を超えた場合は、<u>当項目の提案すべてを0点とする。</u></p>	

[P O/O]

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)	
(様式第8号)	(用紙A4)	(様式第8号)	(用紙A4)
(4) 安全に係る提案 (4-O)		(4) 安全に係る提案 (4-O)	
■ 項 目	安全に係る提案	■ 項 目	安全に係る提案
<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 		<p>【提案-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 <p>【提案-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要 (目的・方法・場所・期間等を項目を立て記載すること) ・特徴 ・効果 	
<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-O】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-O】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p>		<p>注1：具体的かつ実現性のある内容であり、かつ課題解決に向けての工夫が見られる場合に評価する。 「設計図書」「共通仕様書」「特記仕様書」等に記載のある内容は「普通以下」とし、評価しない。</p> <p>注2：一つの提案につき【提案-O】と記載し、その下に概要、特徴、効果を簡潔に記載すること。 提案数は【提案-O】の数でカウントする。(例：2提案なら【提案-1】、【提案-2】のみ)</p> <p>注3：一般的な用語による記載を原則とするが、特殊な工法や方法、製品を用いる場合には、詳細な説明を付け加えること。</p> <p>注4：記載にあたっては、「必要に応じて・・・」、「状況に応じて・・・」などの曖昧な表現は避けること。</p> <p>注5：当項目に関する本様式の枚数は1枚とする。なお、図表等の記載用に、A4用紙1枚のみを追加できるものとする。規定の枚数を超えた場合は、<u>当項目の提案すべてを0点とする。</u></p>	
[P O / O]		[P O / O]	

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)	
(様式第9号) (土木一式工用) (用紙A4)		(様式第9号) (土木一式工用) (用紙A4)	
企業の技術力および地域性・社会性		企業の技術力および地域性・社会性	
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	(最終の請負金額(税込)を記入する。)
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日
	工事概要	〇〇	〇〇
工事成績評定	件数 件 平均点 (小数点第2位切捨て) 点	工事成績評定	件数 件 平均点 (小数点第1位切捨て) 点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()	主たる営業所の所在地 ()
	広域防災への取組の有無(*)	(土木一式工事の場合のみ評価する) <input type="checkbox"/> 取組あり ・ <input type="checkbox"/> 取組なし	(土木一式工事の場合のみ評価する) <input type="checkbox"/> 取組あり ・ <input type="checkbox"/> 取組なし
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外
<p>注意 上記記載の内容が確認できる資料 (CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001 の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し) を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 (*) は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 		<p>注意 上記記載の内容が確認できる資料 (CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001 の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し) を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 (*) は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 	
[P O / O]		[P O / O]	

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)																																																																																																																			
<p style="text-align: center;">(様式第9号) (鋼構造物工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点 (小数点第2位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社雇用技能者の氏名</td> <td>技能検定合格証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○○ ○○</td> <td>平成○○年 ○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地 ()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、技能検定合格証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center; font-size: large;">P O / O</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外			自社雇用技能者の氏名		技能検定合格証の取得年・番号	○○ ○○		平成○○年 ○○○○号	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外		<p style="text-align: center;">(様式第9号) (鋼構造物工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点 (小数点第1位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社雇用技能者の氏名</td> <td>技能検定合格証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○○ ○○</td> <td>平成○○年 ○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地 ()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、技能検定合格証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center; font-size: large;">P O / O</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第1位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外			自社雇用技能者の氏名		技能検定合格証の取得年・番号	○○ ○○		平成○○年 ○○○○号	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外	
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																				
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																			
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日																																																																																																																			
	工事概要	○○																																																																																																																			
工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て) 点																																																																																																																		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()																																																																																																																				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																				
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																				
	自社雇用技能者の氏名		技能検定合格証の取得年・番号																																																																																																																		
	○○ ○○		平成○○年 ○○○○号																																																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()																																																																																																																			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																				
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																				
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																			
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日																																																																																																																			
	工事概要	○○																																																																																																																			
工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第1位切捨て) 点																																																																																																																		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()																																																																																																																				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																				
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																				
	自社雇用技能者の氏名		技能検定合格証の取得年・番号																																																																																																																		
	○○ ○○		平成○○年 ○○○○号																																																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()																																																																																																																			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																				

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)	
(様式第9号) (建築一式工用) (用紙A4)		(様式第9号) (建築一式工用) (用紙A4)	
企業の技術力および地域性・社会性		企業の技術力および地域性・社会性	
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)
同種工事の名称等	工事名称	OOOOO工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))	
	発注機関名	OOOOOO	
	工事場所	OO県OO市OO町OO	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	
	工事概要	OO	
工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て) 点
県の工事成績評定を有しない場合で、建築基準法に適合していることを証明できる民間工事等の実績(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()		
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()	
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	福井県震災建築物応急危険度判定士の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有(3名以上) ・ <input type="checkbox"/> 有(2名) ・ <input type="checkbox"/> 1名または無	
	福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品目以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない		
注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および健康保険証の写し)を添付資料として提出すること。		注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および健康保険証の写し)を添付資料として提出すること。	
<ul style="list-style-type: none"> 福井県の工事成績評定を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。 ①国の工事成績評定を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。 県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。 (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 		<ul style="list-style-type: none"> 福井県の工事成績評定を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。 ①国の工事成績評定を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。 県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。 (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 	
P O/O		P O/O	

改正後 (R5.5.1)		現 行 (R4.4.1)																																																																																	
(様式第9号) (舗装工用) (用紙A4)		(様式第9号) (舗装工用) (用紙A4)																																																																																	
企業の技術力および地域性・社会性		企業の技術力および地域性・社会性																																																																																	
<table border="1"> <tr> <td>施工実績を評価する基準</td> <td>過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td>〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td>〇〇〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td>主たる営業所の所在地 ()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>除雪契約の有無(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td> <input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table>		施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	工事概要	〇〇	工事成績評定	<table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点					優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()	ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外	<table border="1"> <tr> <td>施工実績を評価する基準</td> <td>過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td>〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td>〇〇〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td>主たる営業所の所在地 ()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>除雪契約の有無(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td> <input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table>		施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	工事概要	〇〇	工事成績評定	<table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点					優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()	ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)																																																																																	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇																																																																																	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線																																																																																	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																	
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日																																																																																	
工事概要	〇〇																																																																																		
工事成績評定	<table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点																																																																														
件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点																																																																																
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()																																																																																		
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()																																																																																	
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																	
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																	
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																	
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																		
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)																																																																																	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇																																																																																	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇〇線																																																																																	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																	
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日																																																																																	
工事概要	〇〇																																																																																		
工事成績評定	<table border="1"> <tr> <th>件数</th> <th>件</th> <th>平均点 (小数点第2位切捨て)</th> <th>点</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点																																																																														
件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点																																																																																
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()																																																																																		
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()																																																																																	
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																	
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																	
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																	
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																		
<p>注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>		<p>注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>																																																																																	

改正後 (R5.5.1)				現 行 (R4.4.1)				
(様式第9号) (法面処理工事用)		(用紙A4)		(様式第9号) (法面処理工事用)		(用紙A4)		
企業の技術力および地域性・社会性				企業の技術力および地域性・社会性				
施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	OOOOO工事 (CORINS登録番号)		同種工事の名称等	工事名称	OOOOO工事 (CORINS登録番号)		
	発注機関名	OOOOOO			発注機関名	OOOOOO		
	工事場所	OO県OO市OO町OO 一般県道OOOOO線			工事場所	OO県OO市OO町OO 一般県道OOOOO線		
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日			工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
	工事概要	OO			工事概要	OO		
工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点	件数	件	平均点 (小数点第1位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()				<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()			
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) (※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する者を(1名以上)記載すること)	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外				<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外			
	自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号		自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号	
	OO OO		平成〇〇年 OO〇〇号		OO OO		平成〇〇年 OO〇〇号	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ()		
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外			<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外			
注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要) ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者のうち最低1名以上が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。				注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要) ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者のうち最低1名以上が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。				
[P O / O]				[P O / O]				

改正後 (R5.5.1)				現 行 (R4.4.1)							
(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工用) (管線系を除く) (用紙A4)				(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工用) (管線系を除く) (用紙A4)							
企業の技術力および地域性・社会性				企業の技術力および地域性・社会性							
施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)					
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))		同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))					
	発注機関名	○○○○○○			発注機関名	○○○○○○					
	工事場所	○○県○○市○○町○○			工事場所	○○県○○市○○町○○					
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)					
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日					
	工事概要	○○			工事概要	○○					
工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第2位切捨て)	点	工事成績評定	件数	件	平均点 (小数点第1位切捨て)	点		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()				優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 ()					
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無					
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	()		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	()		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	()	
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外				指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外				指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外					
注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書(管工事のみ)の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要) ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。				注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書(管工事のみ)の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要) ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。							
P O/O				P O/O							

改正後 (R5.5.1)				現 行 (R4.4.1)									
(様式第9号) (管・電気の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工用) (用紙A4)				(様式第9号) (管・電気の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工用) (用紙A4)									
企業の技術力および地域性・社会性				企業の技術力および地域性・社会性									
施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)							
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))		同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))							
	発注機関名	○○○○○○			発注機関名	○○○○○○							
	工事場所	○○県○○市○○町○○			工事場所	○○県○○市○○町○○							
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)							
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日							
	工事概要	○○			工事概要	○○							
工事成績評定		件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点		工事成績評定		件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()		優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()							
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無							
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()							
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無							
	福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 <small>※管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。</small>			福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 <small>※管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。</small>							
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外							
発注者指定品目のうち指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない		発注者指定品目のうち指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない									
注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。				注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。									
[P O / O]				[P O / O]									

公共工事における総合評価落札方式の手引き 新旧対照表

改正後 (R5.5.1)	現 行 (R4.4.1)
<p>(様式第9号の4) ～1級鉄工技能士 (構造物鉄工作業) 配置実地確認申請書 (略)</p>	<p>(様式第9号の4) ～1級鉄工技能士 (構造物鉄工作業) 配置実地確認申請書 (略)</p>